

開発に頼らない次世代に繋ぐ持続可能な島づくりをめざして

古民家再生プロジェクト

古民家をリサイクルし、地域住民が運営するコミュニティ・ツーリズムを推進するプロジェクト

私 たちは、過疎化に伴い主を失い放置され朽ち果てようとしている

古民家を「島の暮らし」体験の宿泊滞在施設として有効に活用し、それを取り巻くコミュニティの中でスモール・ビジネスを発生させ、その家に積み重なってきた営みの文化と共に住民との関係性の再構築をめざし、古民家再生プロジェクトを進めています。

古 民家再生プロジェクトは、単なる再生古民家という箱づくりの事業ではなく、美しい島をつくること、美しい島を守ることに、美しい島であり続けること、その活動そのものが島の資源として有効に機能することを実証する運動であり、島の誇りの創出事業です。

島に暮らす。 島暮らし体験の宿

「がーべーちゃん」字伊是名

2007年再生★2007年7月運用開始

「あんじょーや」字勢理客

2008年再生★2009年4月運用開始

「まーちぬしちや」字仲田

2010年再生★近日運用開始

「ちょーぎや」字伊是名

2010年再生開始★2011年運用開始予定

「にしぬへーく」字勢理客

2011年再生開始予定★

【屋号】

今では名前でも呼ぶことも多くなりましたが、島では昔から家と呼ぶとき名前ではなく屋号で呼んできました。私たちは家の再生と共にその家の屋号も大切に伝えていきたいと思っています。再生した古民家の呼称も「がーべーちゃん」「あんじょーや」「まーちぬしちや」「ちょーぎや」「にしぬへーく」と昔から呼ばれていた屋号をそのまま使用しています。

例えば「まーちぬしちや」とは「松の下」と書きます。今はもうありませんがこの家の脇に大きな松の木があったと聞きます。屋号にはその家の歴史が込められているのです。この家を利用した旅人が近所のお年寄りにその名前の由来をたずねることで、素敵な旅の物語に出会えるかもしれません。



第4回 古民家再生職人養成カレッジ

平成 25 年 8 月 24 日～9 月 13 日まで

参加者募集（全日程・短期・体験）10 名程度

今夏、日本財団の助成を受け、第4回「沖縄古民家再生職人養成カレッジ」を開催致します。

今回は短期集中型とし3週間の日程で現在修復中の古民家の改修の一部を経験します。同時に島の風が進める古民家再生を中心とした地域づくりの取り組みも紹介、今後、縮小していく社会にあって小規模地域が何を選択していくのか共に議論したいと考えています。又、現在、就労に不安を抱く若者へ「技術をもつ仕事」「地域貢献という仕事」の魅力に触れる「気づきの場」としての可能性も同時に追求していき、今後の活動につなげたいと思っています。全日程、短期参加者には滞在費等費用の一部を補助します。詳しくは当法人HPをご覧ください。



〒905-0605

沖縄県島尻郡伊是名村字勢理客 1542

TEL.0980-50-7330 FAX.0980-50-7330 E-mail: info@shimanokaze.jp

<http://www.shimanokaze.jp>

